

326  
360

東京帝國大學  
農業部  
千葉縣演習林概要



始



326  
360

東京帝國大學  
農學部  
千葉縣演習林概要

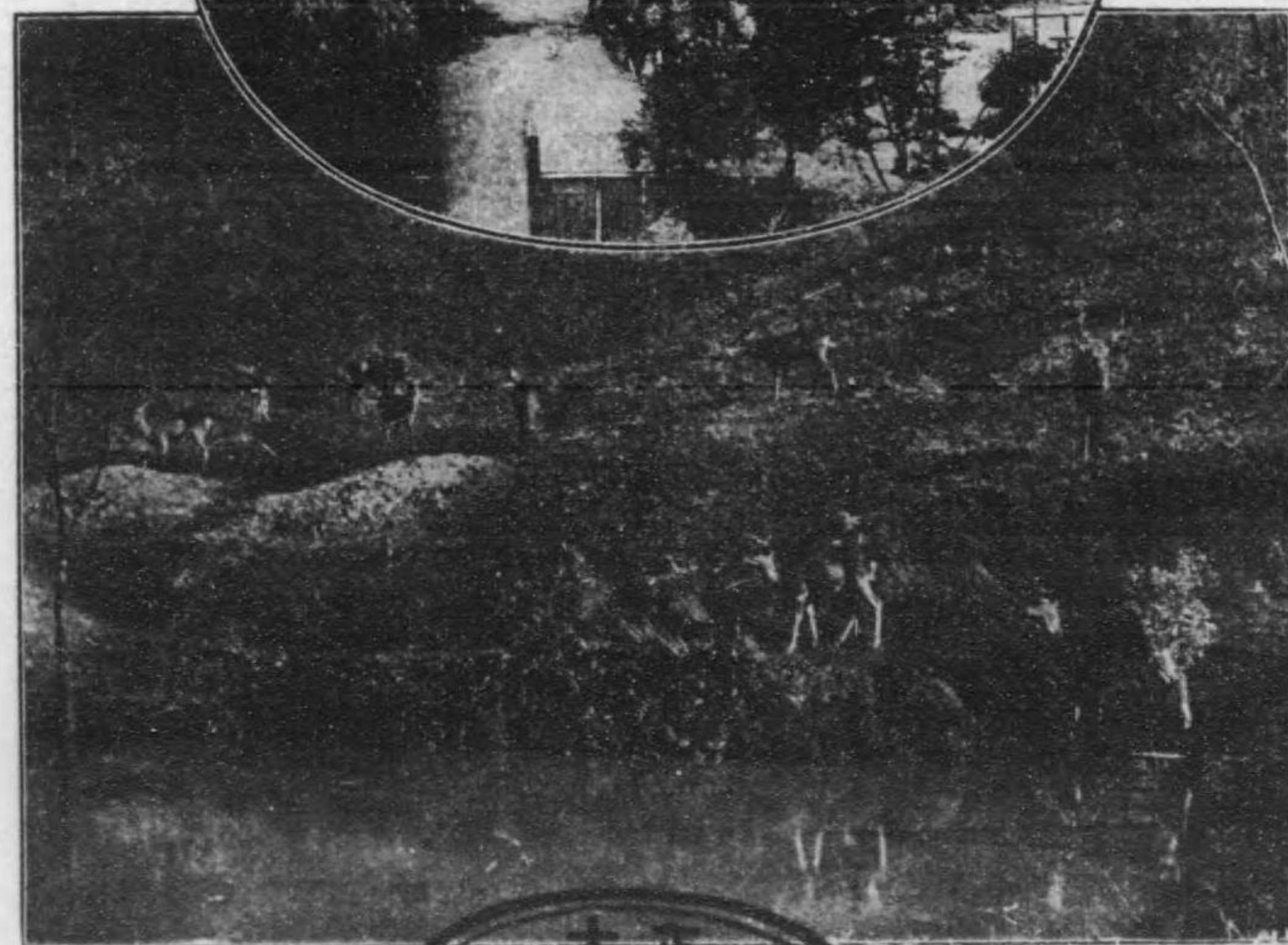


326-3601

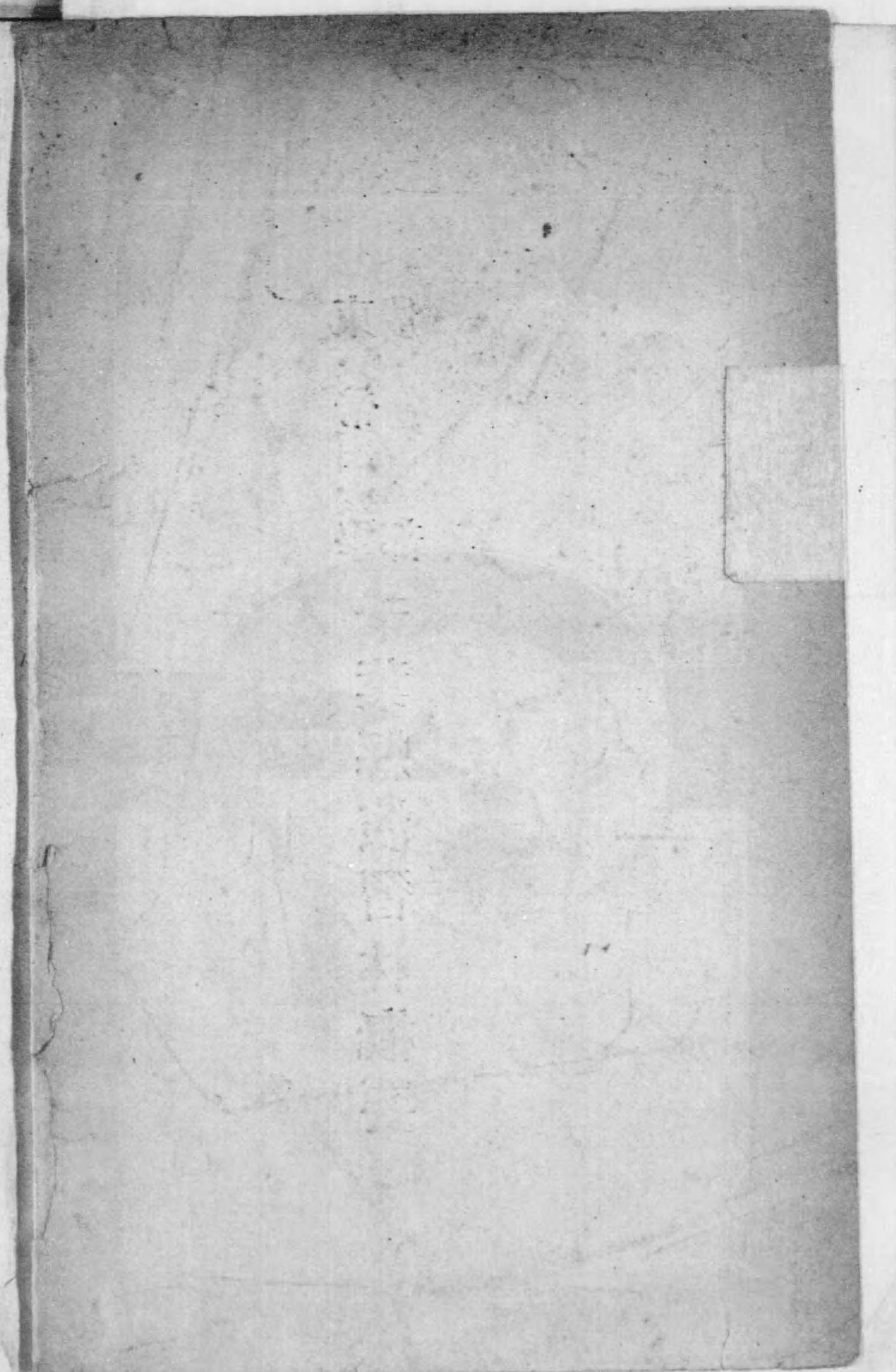
明治三十五年植杉村林  
(字郷田第二十六班生長試驗地)



林所習出派



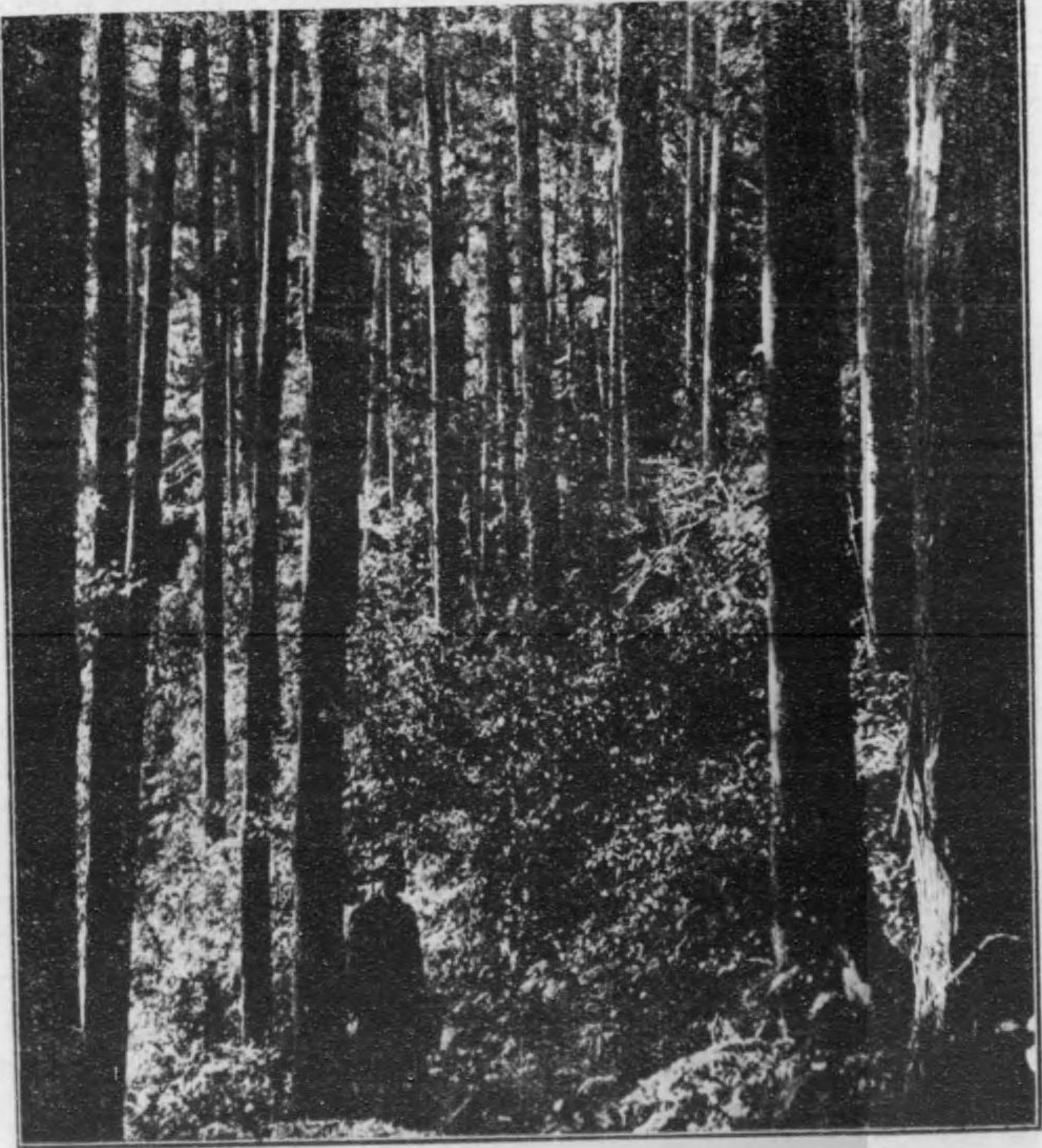
野獸園 鹿 大正 11. 3. 8  
内交 (尾外小字)



淺間山天然林(第四十一林班)  
暖帯北部ノ原生林ニシテ二百年以來ノ禁伐林ナリ



杉ノ老林、林齡九十五年、一町歩材積二千二百八十石  
(宇東漢澤第四十四林班)



東京帝國大學  
農學部

# 千葉縣演習林概要



## 第一 位置及ビ沿革

本演習林ハ房總半島ノ東南部安房國安房郡天津町ヲ距ル北西一里乃至四里ノ間ニ位シ其總面積二千二百四十九町步餘房總ノ國界ヲナセル分水嶺本林西南部ノ境界ヲ東南ニ走リテ本林ヲ横斷シ之ヲ奥山及清澄ノ二地域ニ分ツ

奥山々林ハ上總國君津郡龜山村ニ在リテ小櫃川ノ上流七里川及ビ猪ノ川ノ兩流域ニ互リ面積千九百二十一町步餘東ハ郡界分水嶺ニ依リテ夷隅郡筒森國有林ニ境シ北方一帶ハ龜山村ノ私有地公有地ニ西ハ概ネ龜山村字片倉地先國有林ニ隣リ南西ハ房總ノ國界ニ依リ安房郡東條村公有林ニ接シ東南部ハ清澄山林ニ連續ス而シテ本林内ヲ北走スル七里川ニ沿フテ龜山村字四方木及ビ黃和田畑ノ二部落アリ

清澄山林ハ安房郡天津町字天津ノ内坂本及ビ字清澄兩區ノ地先ニ在リテ面積三百二十八町步弱其東南部ハ天津町公有林ニ境シ西南ハ同町字濱荻ト東條村三區ノ入會山林天津町公有林及ビ私有林ニ接シ北ハ奥山々林ニ連ル此地ハ房州ノ巨利千光山清澄寺ノ在ル所ニシテ本學演習林派出所亦此處ニ設ケラル

本林成立ノ沿革ヲ按ズルニ清澄山林ハ元和二年徳川家康ノ寄進ニヨリ清澄寺寺領トナリ爾來御朱印地トシテ存シ寛政年中時ノ住職明範ナル者夙ニ山林造成ノ要務ヲ察シ寺中及ビ門前ノ住民ニ諭告シ大ニ植林ニ力ヲ盡サシム是レ現存セル杉林ノ成立シタル所以ナリ後明治四年一月社寺上地處分ニ依リ境内十四町步ヲ殘シ他ヲ悉ク上地シテ官林ニ編入セラル

又奥山々林ハ舊龜山郷ニシテ徳川氏ノ時ニ當リ武州川越藩主(後前橋藩主)松平大和守ノ所領トナル文化ノ頃ヨリ所謂御手山ト稱シ矮林及ビ中林下木ヲ伐採シ盛ニ製炭ヲナシタリ而シテ縱其他ノ上木ハ多ク留木トシ濫リニ伐木ヲ許サズ唯藩ノ所要ニ應ジテ僅カニ利用シタルニ過ギズ後明治元年戊辰花房藩主西尾隱岐守ノ所領トナリ又明治四年七月廢藩ノ際清澄山林ト共ニ宮谷縣ノ所管トナリ同縣廢セラレ木更津縣ニ移リ次デ同六年六月千葉縣ニテ所管スルコトトナリ明治

二十二年十月各地ニ大林區署ノ開設セララルニ當リ清澄山林ハ東京大林區署大多喜小林區署又奥山々林ハ同大林區署久留里小林區署ノ管理スル所トナレリ  
超エテ明治二十五年十二月當時本學助教教授タリシ本多博士學生實地指導旅行ノ爲メ鹿野山ヨリ奥山方面ヲ經テ此地ニ至リ其淺間山原生林茲ニ附近一帶ニ存スル林相狀態ノ最モ林學ノ實習研究ニ適當セルヲ認メ演習林設置ノ議ヲ起シ遂ニ同二十七年十一月清澄官林ヲ本學所屬演習林トナセリ是レ實ニ本學演習林ノ嚆矢ニシテ又本邦ニ於ケル學校附屬林ノ濫觴タリ而シテ其當時本林ハ一方杉縱等ノ喬林及ビ櫛類ノ常綠潤葉樹林存在セシモ又一方ニハ廣大ナル未立木地及ビ原野尠カラズシテ林區署時代ノ新植地トシテハ僅々三十町步弱ニ過ギザリシカバ逐年林相ノ整理無立木地ノ造林ニ努ムルト同時ニ隣接原野ノ火入延燒ニ因ル災禍ヲ警メタリ然レドモ其地域僅カニ三百三十六町步餘ニシテ未ダ以テ完全ナル一施業區トナスニ足ラザリシガ故ニ更ニ隣接地タル奥山官林ヲモ之ニ加ヘン事ヲ主務省ニ提議シ明治三十一年二月其東半部千八百三十六町九反步ノ交付ヲ受ケタリ爾來或ハ民有地ノ購入交換又ハ寄附若シクハ官有地ノ組替等ニヨリテ面積次第ニ擴張セラレ以テ現域ニ達セリ

本演習林ノ所在地方ハ大體ニ於テ丘陵各所ニ起伏シ高峯峻嶺ノ聳ユルナキモ而モ廣漠タル平野ヲ見ズ之レガ爲メ地方住民ハ山野ノ間苟モ鋤犁ノ施スベキ地アレバ必ズ之ヲ耕耘シ或ハ深ク狹隘ナル溪間ニ入り或ハ比較的平易ナル山腹ヲ攀ヂテ梯階狀ノ農地ヲ開ク然レドモ自然ノ地勢上到底廣キ農耕地ヲ得ルコト能ハズ之ガ爲メ當地方村落ノ住民ハ大半山林ニ入りテ所謂山稼ヲナス即チ製炭ヲ第一トシ木挽、伐木、運材、木材加工等ノ業之ニ亞グ

### 第二 立地

#### 其一 地形

本林ハ上總臺地ノ一部ヲ占メ地形學上幼年末期ニ屬スル一ノ隆起臺地ニシテ山頂ハ到ル處高距ニ大差ナク(三百五十米内外)明カニ臺地ノ特相ヲ具フレドモ河流ハ既ニ深キ溪谷ヲ穿チ山側ノ傾斜甚ダ急峻ニシテ往々斷崖ヲナシ谷底ニアルモノハ其ノ臺地ノ中ニアルヲ覺ヘズ却テ崎嶇タル山貌ヲ眼前ニ視ルヲ此地方ノ特色トス上總臺地ハ鴨川平野及ビ天津勝浦間ノ「リアス」式海岸ヲ其ノ南邊トシ南ヨリ北ニ向テ平均三十五分ノ緩傾斜ヲナスサレバ臺地ノ分水界ハ南端ニアリテ

其ノ位置ハ略々房總二國ノ國境ニ一致ス分水界以南ノ諸溪流ハ臺地南端ノ斜面ヲ流下スルモノナルガ故ニ全流ヲ通ジテ急湍瀑布多ク而シテ長サハ僅ニ一二里ヲ超エズ其ノ受水區域モ亦長サニ比シテ更ニ小ナリ分水界以北ノ諸川ハ何レモ臺地ノ上ニ北ニ向テ流ルルガ故ニ其ノ上流ガ上述ノ如ク深キ溪谷ヲ穿チテ兩岸ノ傾斜峻急ナルニ係ラズ水勢極テ緩ニシテ河床ハ平タク板ヲ敷キタルガ如ク流路ハ甚シク屈曲蛇行スルコト十數里ニシテ始メテ海ニ入ル演習林内ヲ貫流スル小櫃川ノ如キ其ノ最モ著シキモノナリ

#### 其二 地質

本林内ニ現ハル、地層ハ之ヲ第三紀層ト第四紀層トニ大別スルコトヲ得第三紀層ハ林内山地ノ基骨ヲナスモノニシテ其ノ分布區域ハ房總半島ノ全部ニ互レドモ演習林ニ關係セル部分ノミヲ累層ノ順序ト主要岩類トニヨリテ區分スレバ左ノ三部十層トナスコトヲ得(古キモノヨリ新シキモノニ及ブ)

#### A. 下部

- (一) 坂本層 多少凝灰質ナル泥板岩ヲ主岩トシ砂岩凝灰岩等ノ薄層ヲ夾ム
- (二) 妙見層 主トシテ數種ノ凝灰岩及ビ甚シク凝灰質ナル泥板岩ヨリ成ル





山側トハ大ニ趣ヲ異ニセリ

沖積層ハ河畔ニ狹キ底地ヲ占メテ僅ニ發達スレドモ森林ハ殆ド没交渉ナリト云フモ妨ゲズ

### 其三 氣候

本演習林所在地タル房總半島ハ本州ノ東南部ニ位シ太平洋面ニ突出シ暖流ノ影響ヲ受クルコト多大ナルヲ以テ其氣候ハ緯度ニ比シ甚シク溫暖多濕ニシテ且ツ夏冬ノ溫差小ナリ、今明治三十八年ヨリ大正三年ニ至ル十ヶ年間ノ觀測ニヨリ其氣候ノ概要ヲ擧ゲレバ次ノ如シ

空氣溫度(攝氏) 一ヶ月ノ平均氣溫ハ二三・八八度ヨリ四五・五度ノ間ニアリ、最高ハ八月ニ於ケル二七・五七度十年間ノ最極ハ明治四十四年八月二十八日三四・六度最低ハ二月ニ於ケル零下〇・六三度(最極ハ明治三十九年一月二十二日零下九・一度)空氣濕度 空氣ハ概シテ濕潤ニシテ霧多ク即チ其濕度ハ一ヶ年平均七五%最濕ノ季節即チ梅雨季ヨリ夏季ニ及ンデハ八二―八五%ナリ

降水量 當地ハ千葉縣下ニ於ケル雨量最多ノ地ニシテ一ヶ年平均一八五〇耗時ニ二〇〇〇耗ヲ越ユルコトアリ而シテ九月ニ最モ多ク十二月ハ最モ少ナシ

霜雪 結霜ハ多ク十一月ニ始マリ三月ニ終ル然レドモ其回数ハ少ナシ降雪ハ一ヶ年中唯二三回アルノミニシテ殆ンド堆積スルコトナシ

風 冬期ハ概ネ北風又ハ西北風夏期ハ南風吹キ又孟春ヨリ夏ニ至ル間南若シクハ南々東ノ暴風襲來スルコト屢ナリ

### 第三 林況

本林ハ之ヲ森林帶ヨリ云フ時ハ暖帶北部ノ殆ンド中心ニ位ス即チ此地固有ノ林相ヲ維持セル淺間山ニ於テハかし、しひ、たぶノ類ヲ主木トシあせび、しきみ、さかさ、ひさかさ等ノ下木ヲ有シ峯通リニハもみ、つがノ大木ヲ交ヘ溪谷ニ沿フ處ニハ往々もみぢ、けやき、あかめがしは等ノ落葉濶葉樹混生シ所謂常綠濶葉樹帶ノ典型ヲ表ハス而シテ此等固有ノ林木濫伐セラレ且ツ屢ニ火災ニ罹リシ部分ハこなら、あかまつの類混生シ若シクハ全ク萱生地トナリ又其常綠濶葉樹ノミヲ伐採利用シタル區域ハもみ、つがヲ上木トシかし、しひ、たぶ其他ノ常綠及ビ落葉樹ヲ下木トセル中林狀態トナレリ其他清澄及ビ奥山ノ諸方面ニ互リ從來ヨリすぎヲ植栽セル部分大小ノ團地ヲナシテ存在ス本演習林ノ設置以來未立木地及ビ不完全立木地

ハ努メテすぎ及ひのきヲ植栽シ又中林ノ内或部分ハもみづが等ノ上木ヲ伐採シ一時かし、しひ等ノ矮林トナシ更ニ之ヲ喬林ニ變更スルコトトセリ  
 今全演習林ヲ其林況ニヨリ類別スル時ハ次ノ如シ(大正九年三月調査)  
 すぎ、ひのき喬林(少許ノさはらヲ含ム)

幼齡林(二〇年以下)	五六二・三八
壯齡林(二一—四〇年)	八六〇・七
老齡林(四一年以上)	三二・三五
まづ喬林	七八八
くす、かし喬林	六・五四
中林	七四二・〇三
矮林	七四〇・七四
禁伐林及風致林	八〇五
林木見本林	一五・二〇
苗圃	四七四
野獸園	五五四

刈上場、原野及農地

二九〇・九

建物敷地

三・九三

部分林及貸地

四・八二

合計

二、二四九・三六

### 第四 經營ノ概要

#### 其一 施業計畫

本林ハ其設置後先ヅ境界ノ査定測量及ビ林況ノ調査ヲ爲シ且ツ差シ當リ未立林地ノ造林ヲ行ヒ又其地勢地質ノ如何ニ鑑ミ各種林木ノ生長ヲ調査シ又一方地方ノ民情、一般經濟ノ關係竝ニ學術上ノ實習及ビ研究ノ方法等ヲ考究シ施業經營案編成ノ豫備ヲナシ明治三十八年第一次(三十八年ヨリ四十二年ニ至ル)ノ經營案ヲ編成セリ

該案ハ全林ヲ清澄及ビ奥山ノ二施業區ニ分テ清澄施業區ハ學術ノ實習及ビ研究ニ重キヲ置キ奥山施業區ハ主トシテ經濟的ノ經營ヲナスベキ方針ヲ採レリ當時清澄施業區總面積三百三十九町歩ノ内約二百五十町歩ヲすぎ、ひのきの喬木ト

シ六十二町歩ハ植栽困難ナルガ爲メ雜木ノ自生ニ委シ十三町歩ヲ試驗造林地及ビ矮林施業地ニ充テ十四町歩ヲ禁伐林見本林其他ノ除地トシ又奥山施業區ハ約千二百三十三町歩ヲすぎひのきノ喬林トナシ五百二十八町歩ヲ雜木自生地四十町歩ヲ試驗造林地及ビ矮林五町歩ヲ苗圃其他ノ除地トシテ經營スル豫定ナリキ而シテ其すぎひのき喬林豫定地ハ大部分中林若クハ矮林ニシテ之ヲ二十五區ニ分チ毎年各區伐採跡ノ約二分ノ一ヲ造林シ殘部ハ尙一回矮林トシテ作業シ二十五年ノ後更ニ之ヲ伐採シテ造林ヲナシ結局五十年ノ後全部ノ整理ヲ實行スル方針ニシテ是レ實ニ該經營案ノ骨子トモ稱スベキナリ

今其第一次經營案ニ於ケル整理豫定ノ要領ヲ舉グレバ次ノ如シ

整理案要領

施業期	奥山施業區			清澄施業區			合計		
	整理地	造林	平均一箇年	整理地	造林	平均一箇年	整理地	造林	平均一箇年
第一期 自明治三十八年 至明治四十二年	二九〇・八町	四四・五町	八・〇町	二七・八町	四八・七町	五・五町	三二八・〇町	二九・二町	六三・六町
第二期 自明治四十三年 至明治五十二年	六二六・六町	三三〇・五町	六・九町	五二・〇町	一九・二町	五・二町	一〇九三・六町	三三九・七町	六三〇・〇町
第三期 自明治五十二年 至明治六十二年	六〇六・三町	三三八・二町	六・五町	五五・七町	四三・六町	五・四町	一〇六六・〇町	四四三・五町	六五〇・七町
第四期 自明治六十二年 至明治八十七年	五九・九町	五九・九町	三・〇町	三三・九町	三二・八町	三・七町	九三・八町	九〇・七町	二七・〇町
	二二・〇町	二二・〇町	三・〇町	七五・五町	三六・五町	三・七町	三〇七・七町	一〇一・〇町	二七・〇町
	二二・〇町	二二・〇町	三・〇町	七五・五町	三六・五町	三・七町	三〇七・七町	一〇一・〇町	二七・〇町

施業期	整理地	造林	平均一箇年
第一期	二九〇・八町	四四・五町	八・〇町
第二期	六二六・六町	三三〇・五町	六・九町
第三期	六〇六・三町	三三八・二町	六・五町
第四期	五九・九町	五九・九町	三・〇町

上掲ノ豫定ニ對シ之ガ實行ノ結果ヲ見ルニ明治四十二年ニ至ルマデ中林矮林及ビ原野地ヲすぎひのきノ喬林ニ變更セシ面積兩施業區ヲ通シ百六十五町五反步是ニ本案實施以前ノ造林地ヲ加ヘ三百八十五町八反步トナル

第一次經營案ノ實施セラルルコト五ヶ年即チ明治四十二年ニ其第一期ヲ終ルヤ從來ノ成績ニ照ラシ此ニ第二次ノ改定施業案ヲ編成セリ是レ第二次改訂施業計畫ニシテ其根本方針ニ於テ第一次ノモノト異ナル所ナキモ清澄、奥山兩施業區ノ區別ヲ廢シ兩區ヲ併セテ一施業區トシ同時ニ林班ノ分合ヲ行ヒ全林ヲ四十七箇林班トシ其作業種別面積ヲ次ノ如クセリ

- 一、施業外地 八十六町二反步 全面積ノ三九五%
  - 二、特別施業地 四十町九反步 全面積ノ一八七%
- 定置苗圃、禁伐林、見本林、野獸園、原野、岩石地、貸地、建物敷地、道路、水面、等
- 特種用材保存林、風致林、試驗用造林地、試驗用中林地、部分林、刈上場、等



シテ第三次改訂施業計畫ヲ編成セリ該施業計畫ハ其根本方針ニ於テハ第二次改訂施業計畫ニ從ヘリ只此時期ニ方リ本演習林ノ測量終了シ精密ナル基本圖完成セルヲ以テ林班小班ノ面積ニ大修正ヲ加ヘタルアルモ其他ハ大同小異ナリ

其二 造林及保護

一 苗圃

苗圃ハ明治三十三年郷臺畑ニ設置シタルニ創マリ今日ニ至ル迄清澄札郷及ビ郷臺方面ノモノヲ併セ合計四町七反四畝四歩(大正十年末調査)ニ達セリ即チ次ノ如シ

清澄方面 一町四反三畝歩

仁ノ澤(明治三十八年)及ビ小屋ヶ尾(明治四十二年)

札郷方面 一町五反五畝歩

札郷(明治三十六年) 前澤(同上) 中澤(同上) 濁川(同上) 砂澤(大正八年)

郷臺方面 一町七反六畝四歩

郷臺(明治三十三年) 小屋澤(大正六年)

以上ノ苗圃地ハ其開拓當時ニ於テハ何レモ適潤肥沃ニシテ種苗ノ發芽生長共ニ頗ル良好ナリシガ三四年ヲ經過シタル後ハ地力漸ク衰へ無肥料ニテハ到底完全ノ苗木ヲ得ル能ハザルニ至リシヲ以テ綠肥、堆肥、或ハ油粕、人糞、糠等ヲ給シ或ハ大豆、小豆等ヲ輪作シ地力ノ回復ヲ計レリ  
今明治三十八年ヨリ大正十年三月ニ至ル間ニ生産セシ苗木ノ總本數ヲ舉グレバ次ノ如シ

樹種	生産山出苗總本數	内本林ノ造林ニ用ヒタル本數
すき	二〇六三、八一五*	一、五八三、七二三*
ひのき	七五八、五六五	六五二、一三六
あかまつ及くろまつ	四四、三三二	一六、八一八
くす	四、七二五	四、七一五
つげ	一八一	一八一
計	二、八七一、六一八	二、二五七、五七三

苗圃ニ使用スル種子ノ内すぎ、ひのきハ主トシテ吉野産ノモノニ依リ近時ハ幾分地方産ノモノ又比較研究用トシテ秋田産ノモノヲモ用フ、くすハ熊本地方ヨリ

供給ヲ受ク而シテ從來ノ經驗ニ徴スレバすぎ山出苗百本ノ生産費ハ一圓七十錢弱、ひのき(多クハ四年生)ハ二圓五十錢トナル只近時ニ至リ赤枯病ノ豫防ノ爲ぼるどー液撒布ノ費用トシテすぎ百本ニ付此外約三十錢ヲ要ス

二 植 栽

本演習林ノ設置セラルルヤ差當リ未立木地ノ植栽ニ極力意ヲ用ヒ爾後矮林中林ノ伐採跡地ノ幾分ニ植栽シテ林相ノ改良ヲ計リタリ即チ明治二十八年ヨリ大正十年三月ニ至ル二十七年間ニ植栽セシ總面積ハ五百六十七町七反八畝歩ニシテ之ヲ植栽樹種ニヨリ類別スレバ次ノ如シ

植栽樹種

す	ぎ	五五五 <sup>四</sup> 八 <sup>畝</sup>	二、三九九、二八八 <sup>本</sup>
ひ	の	き	六八九、五二〇
あ	か	まつ	一、一三九〇
く	ろ	まつ	五、四二八
か	ら	まつ	五、二九六 <sup>(火災ニヨ</sup>
く	す		一、二二三二 <sup>リ焼失)</sup>
四	一	六	

け	や	き	すぎひのきニ混植	二〇〇
く	ぬ	ぎ		一、七一四
つ	げ			一八一
く	わ			六、六〇〇
計				五、六七七八
				三、一三一、八四九

其造林ノ方法ハ二月初旬ヨリ地拵ニ著手シ三月下旬ヨリ植付ヲ始メ四月末ニ完了スルコトトセリ又其植付距離ハ地況ニ從ヒ四尺五寸乃至五尺トシ即チ一町歩當リ四千三百二十本ヨリ六千七百五十本ニ至ルヲ普通トス而シテ今日迄植栽セシ總面積ニ付キ平均セバ一町歩約五千四百本トナル

植栽樹種ハ主トシテすぎひのきヲ用ヒすぎハ多ク溪谷ニ沿ヒ漸ク山腹ヲ登ルニ從ヒテひのきヲ交へ上部ハ全クひのきヲ植エ又峯通リ風當リ強キ所或ハ極メテ乾燥セル部分ニハまつヲ植エ或ハ斯ノ如キ部分ハ自然ニ成立セルもみ、つが、ま、つ及ビ雜木ヲ維持シ防風防火ノ用ニ供ス又急峻ノ部分或ハ岩石地ハ人工造林ヲナサズシテ是亦自然發生ノ樹木ヲ維持スルコトトセリ又全クノ無立木地ニ造林スル場合ニハ防火用トシテ峯通リニ潤葉樹ヲ自生セシメ或ハ植栽セルコトアリ

又くすヲ造林スルニハ保護樹トシテならかし等ヲ帶狀ニ保存シタリ凡テ造林ハ何レモ苗木植付ノ法ニヨルト雖モ試験用又ハ實習用トシテ播種造林挿木造林ヲモ實行セリ

新植地ハ植付ノ初年七八月ノ候一回下刈ヲナシ爾後四年乃至五年間之ヲ行ヒ其後ハ唯蔓切りヲナスニ止メ十一二年ヲ經テ弱度ノ枝打ヲナシ以テ樹形ヲ整ヘ且ツ火災ノ防備トス  
今上掲ノ方法ニヨリ實行セルすぎひのき一町步當リノ造林費ヲ舉グレバ次ノ如シ

すぎひのき造林費明細表 (一町步當平均)

(大正十年末調齊)

費目	員數	單價	總價	備考
植付用 葦代	一〇枚	一・五〇	一・五〇〇	葦一枚ニテ苗木三百本ヲ包ミ再度使用ス
同上 繩代	一把	五〇〇	五〇〇	一把百尋物
苗木代	五、〇〇〇本	〇・五〇	二五〇〇〇〇	運搬費共
地拵費	二〇人	一・三〇〇	二六〇〇〇	

植付費	三〇人	一・三〇〇	三九〇〇〇	一人一日百六十乃至百七十本植
第一回下刈費	一五人	一・三〇〇	一九五〇〇	
第二回下刈費	一二人	一・三〇〇	一五・六〇〇	
第一回補植苗木代	五〇〇本	〇・六〇	三〇〇〇〇	一割ノ補植ニシテ苗木代ハ運搬費ヲ含ム
同上植付費	五人	一・三〇〇	六・五〇〇	一人一日百本植
第三回下刈費	一〇人	一・三〇〇	一三〇〇〇	
第二回補植苗木代	一五〇本	〇・七〇	一〇・五〇〇	三分ノ補植ニシテ苗木代ハ運搬費共
同上補植費	三人	一・三〇〇	三・九〇〇	一人一日五十本植
第四回下刈費	一〇人	一・三〇〇	一三〇〇〇	
第五回同	一〇人	一・三〇〇	一三〇〇〇	
第六回同	一〇人	一・三〇〇	一三〇〇〇	
第一回蔓切費	二〇人	一・三〇〇	二六〇〇〇	
第二回蔓切費	一五人	一・三〇〇	一九・五〇〇	
枝打費	三三人	一・三〇〇	四二・九〇〇	枝打樹ハ植付當時ヨリ二割減即チ四千本存在トス 大ハ地上十二尺迄枝打ス 小ハ地上六尺迄枝打ス 一人一日百二十本強
合計			五四三・四〇〇	

本林ハ其演習林トナリシ當時ニ於テハ大部分原野ヲ以テ圍繞セラレ之ガ爲メ  
 火災ノ危険多カリシヲ以テ極力其延焼ニ對スル防備ヲ圖レリ即チ本林内ニ存在  
 セル草生地ニハ植栽ヲナシ或ハ民有原野ニ向テ植林ヲ勸誘シ或ハ地元村ニ各種  
 ノ便益ヲ與ヘテ防火ニ盡力セシメ又新植地ノ周圍ニハ防火線ヲ設ケ或ハ常綠闊  
 葉樹ノ防火帶ヲ保存シ或ハ適宜ノ枝打及ビ枯枝ノ掃除ヲナシ又近年奥山方面ニ  
 二箇所(檜尾及ビ札郷ノ高地)ノ火見番所ヲ設ケ晩秋ヨリ早春ニ至ル間ハ常詰火ノ  
 番ヲ置キ電話ヲ架設シ警戒ヲナス又行路者及ビ狩獵者ノ入林ニ注意シ巡視員ヲ  
 置キテ巡林ヲ周到ニシ尙又最近天津駐在ノ警察官ニ本林ノ保護業務ヲ委嘱シ以  
 テ盜伐及ビ火災保護ノ補助ヲナサシム

以上ノ如ク森林火災ニ對シテハ十分ナル注意ト警戒ヲナセル結果今日迄未ダ  
 甚シキ災害ヲ蒙リタルコトナク只ダ僅カニ造林地ノ幾分ニ被害アリシノミ即チ  
 次ノ如シ

火災統計

(大正十年末調)

年 月 日	字	林班、小班	面積	被害程度	原因
明治二十九年十一月	梨ノ木臺	四三林班ノ内	〇・六〇 <sup>町</sup> 〇・六〇 <sup>畝</sup>	五年生杉林殆ど全部焼失 僅二十數本ヲ残ス	不明

同 三十三年 四月	櫻ガ尾	〇・三〇	少許ノ下木焼失ス	煙草殘火?
同 三十五年 三月十一日	長坂	四五j(見本林) 〇・三〇	クメギ、クロマツ、イテ フ、ケヤキ、カラマツ、 カツラ等見本林ノ一部及 ヒノキ、マキ、クメギ等七 百本焼失	過失
同 三十七年 二月十七日	硯石	四七b内 六・五〇	矮小ノ雜木及五年生落葉 松造林地ノ一部焼失	煙草火?
同 三十八年 二月十七日	硯石	四七b内 五・〇〇	矮小ノ雜木及落葉松造林 地ノ一部焼失	同上?
同 三十九年 十二月四日	切通	四五j(見本林) 〇・〇〇	カニグルミ見本林ノ一部 焼失	同上?
同 三十九年 十二月四日	大仙場	三五b内 〇・三〇	植付後六年ノ杉林ニテ杉 凡一千本焼失	同上?
同 四十年 一月九日	郷田倉	二五d内 〇・八七	十三年生杉燒木約三千本	放火
同 二月廿四日	〃	〃 b内 〇・八五	同上	同上
同 三月三日	〃	〃 d内 〇・一八	十三年生杉燒木七百本	同上
同 一月四日	池ノ澤	二二b内 〇・〇二	三十五年度植付杉、扁柏 燒木計九十本燒損	東條共有林ヨリ 類焼
同 四十二年 二月廿七日	四郎治澤	一四a 〇・〇八	三十四年植付杉燒木約三 百本燒損	煙草火?
同 四十二年 二月廿七日	神田上	一六a 〇・一五	矮小ノ雜木少許	煙草火?
同 四十三年 二月一日	鳥井澤	二a 二・八七	三十六年植付杉燒木七千 四百本及扁柏燒木四千九 百本全部燒損	狩獵者ノ過失
同 四十五年 一月十六日	土野澤	一二b II 〇・二〇	雜木林及四十二年度植付 杉燒木少許	煙草火?
同 四十五年 一月十六日	細野澤	〃 a II 〇・二〇	杉燒木少許	煙草火?
大正二年 三月十日	菖蒲澤	三六g 二・〇〇	四十年植付杉燒木一萬二 千本	大岡官林ヨリ類 燒



大正二年三月十一日	菅蒲澤	三六g	四〇〇	同上	二萬四千本	大岡官林内ヨリ再燃類焼
同 三年一月二十九日	柚ノ木澤	三d	〇四〇	五十四年植付ヒノキ二千本	四十四年植付ヒノキ二千本	道行人ノ過失
同 二月八日	長坂	四五j(見本林)	〇二〇	サクラ、トネリコ、イテ	フ各百本、クマツツ五百本	放火ノ嫌疑アリ
同 五年二月	柚ノ木澤	三b内	〇〇五	明治四十二年植付スギ二百本	百本燒損	道行人ノ過失
同 七年三月二十四日	眞根澤	三六g内	〇二〇	大正五年植付スギ、ヒノ	キ二百本燒損	大岡官林ヨリ類焼
同 九年二月二十二日	龜ノ澤	二一a内	〇七五	大正四年植付スギ、ヒノ	キ四百本燒損	煙草火
同 十年三月一日	仲澤	5c内	〇一六	大正四年植付スギ八百本	燒損	道行人ノ過失

次ニ盜伐誤伐或ハ境界侵入等ノ被害ハ演習林トナラザル以前ニハ相當頻繁ナリシガ如シト雖モ現今ニテハ殆ンド記スニ足ルベキ程ノモノナシ

風害ニ付テハ暴風ノ爲メ時々杉ノ老木ヲ倒シ又ハ海面ヨリ潮風襲來シテ杉扁柏ノ稚樹ヲ害スルコトナキニアラザルモ是ニヨリ損害ヲ蒙ルコトハ頗ル稀ナリ

只大正六年九月三十日夜ヨリ翌一日ニ互リテ稀ナル暴風雨アリ直接其激流ニ衝カレタル處ハ杉、樺、松ノ老木顛倒又ハ挫折シ杉扁柏ノ幼林壯齡林ハ潮分ヲ受ケテ其葉紅潤シ其被害尠カラザリシカド斯ノ如キハ空前ノ例ニ屬スルモノナラン

雪ノ害ニ付テハ嘗テ大正元年十二月二十八日及二十九日ノ降雪ニヨリ奥山方

面ニ於テ十年生以上ノ幼林木約二萬本ヲ倒折シタルコトアリシガ是レ亦實ニ當地方ニ於ケル極メテ稀有ノ事ニ屬ス

又豪雨ノ害モ擧ゲザルヲ得ズ即往々ニシテ山腹ヲ崩壞シ土砂ヲ頽落セシムルコト少シトセズサレド其崩壞面積ハ大ナルモノナシ

其他動物ノ害トシテハ時ニ兎、鼠、鹿、猪或ハ昆蟲ニ害セラルルコトナキニアラザルモ是レ亦被害ノ特ニ記スベキ程度ニ達スルコトナシ

其三 利用

一 用材

本林ヨリ生産スル用材ノ主ナルモノハ杉及ビ縦材ニシテ幾分ノ松、樺材又ハ少許ノ樞樑材ヲ出ス其杉材ハ清澄ノ建具材及ビ海岸部落ノ船板ニ利用スルヲ最モ重要ナル用途トシ其他地方向建築材、土工用材、桶材ニ用ヒ又小角貫板材、若シクハ丸太電柱トシ且ツ幾分ハ東京ニモ輸送セラル、縦材ハ清澄ノ建具材ニ用フル外主ニ板材トシテ東京ニ輸送セラレ、松及ビ樺ハ其生産額少量ナルモ多ク板又ハ角物トシテ之レ又東京輸送ヲ專トス

之ヲ要スルニ當地産針葉樹用材ハ相當ノ品質ヲ備ヘ又帝都ニ對スル運輸ノ便

他ニ比シ優位ニアルモ其産額少量ナルガ爲メ未ダ以テ地方特産ノ聲價ヲ有セズ之ガ爲メ商取引ノ聯絡ナク現今ニテハ只僅カニ地方需要ヲ待ツノ外ナキナリ即チ將來當林及ビ附近國有林又ハ私有林ヨリ盛ニ用材ヲ産出スルニ至ラバ都會ノ大需要ヲ供給スルヲ得ベキヤ必然ナリ

用材ノ賣却方法ハ主ニ立木賣却ニシテ是レ又其生産量ノ少額ナルガ爲メ止ヲ得ザルニヨルナリ即チ需要ハ多ク地方向ナルガ故買受人ニ於テ其所要ニ從ヒ各種ノ造材ヲナスヲ便トス、若シ夫レ後日多額ノ産出ヲナシ一般商品トシテ取扱フコトヲ得ルニ至ラバ自營ニテ伐採造材ヲナスノ利益アルハ言ヲ俟タズ

二 製 炭

本林特ニ奥山方面ハ古來製炭ヲ以テ名アリ舊藩時代ニハ所謂御手山ト稱シ藩ニ於テ自營製炭ヲナシ廢藩後政府ノ主管トナリシ後ハ輪伐拂下ト名ケ地元村落ニ原料ヲ拂下各輪伐區ニ割當テ製炭ヲナサシメタリ、本演習林設置後モ其輪伐拂下ノ制度ヲ踏襲シ來リシガ金融及ビ商取引ノ關係良好ナラザル爲メ多ク粗製品ヲ出スノ弊アリ又製炭者ノ收利ハ勿論原木代モ十分ナラザルヲ認メタルヲ以テ試ニ本學自ラ製炭ヲ實行シタルニ其成績頗ル良好ニシテ獨リ木炭ノ品質ヲ改

良シ得タルノミナラズ又原料ノ消費ヲ周約ナラシメ林業經濟上利スル所少ナカラズ且ツ地元民モ自己製炭ヨリ寧ロ本學直營ノ製炭ニ從事スルヲ希望スルノ傾向ヲ生ジタルガ故ニ明治四十三年以來稍大規模ニ之ヲ行ヒ即チ現今ニテハ原料拂下ニヨル製炭ハ殆ンド往時ノ半額トナレリ

製炭收支

(大正十年十二月調)

(一) 桧白炭(二窯四貫俵二十五俵ニ對スル計算)

○支出

費目	金額	備考
築窯費	一・二〇〇	年二十五回焼上
燒歩人夫賃	一四・九九〇	伐採、燒止、荷造迄
依繩、札木代	二・〇〇〇	
管理費	三・〇〇〇	
運賃	六・五〇〇	倉庫迄運搬
計	二七・六九〇	

○收入

製品	數量	金額	備考
最上 桧	一俵	三・五〇〇	一俵三圓五十錢賣トシ
上 桧	一九俵	五五・一〇〇	同 二圓九十錢
大 桧	一俵	二・〇〇〇	同 二圓
小 丸 桧	三俵	六・六〇〇	同 二圓二十錢
中 粉	一俵	一・〇五〇	同 一圓〇五錢
計	二五俵	六八・二五〇	

○差引利益金 四十圓五十六錢

一窯ノ原料二・二〇棚(百立方尺棚燃料共)

一棚ノ立木代十九圓三十一錢四厘トナル

(二) 淺白炭(四貫俵二十五俵)

○支出

費目	金額	備考
燒歩人夫賃	一二・四八〇	

○收入

其他ノ費用	金額	備考
運賃	六・五〇〇	桧白炭ニ同ジ
計	二五・一八〇	

○差引利益金 十五圓九十七錢

一窯ノ原料二・六〇棚(燃料共)一棚ノ立木代六圓十四錢二厘トナル

(三) 鍛冶屋炭(一窯ニ付七十俵)

○支出

製品	數量	金額	備考
上 淺	一一俵	二〇・九〇〇	一俵一圓九十錢賣トシテ
並 淺	一三俵	一九・五〇〇	一俵一圓五十錢賣トシテ
中 粉	一俵	〇・七五〇	同 七十五錢
計	二五俵	四一・一五〇	

種類	類數	數量	單價	總價	備考
築窯費消却	1/30	三〇・〇〇〇	一・〇〇〇	年三十回燒上	



カヲ盡シ現今ニテハ略々豫定ノ部分ハ完成セリ即チ明治三十一年以來開設セシ林道次ノ如シ

演習林林道(車馬ヲ通ズルモノ)一覽 (大正十年末調査)

名稱	區間	延長	路幅	大勾配	起工年度	竣工年度
猪川林道	郷臺畑北方小屋ノ澤ヨリ猪川流域ニ沿フテ折木澤地先思澤ニ終ル	一里一町二十四間	七尺	1/20 一間ニ付三寸	明治四十四年度	正大三年度
右接續線	郷臺下相澤橋南詰ヨリ猪川林道南端ニ至ル	二町十七間	七尺		同四十二年度	正大三年度
相澤林道	郷臺畑苗圃下相澤橋南詰ヨリ相澤本流ニ沿フテ上リ東ノ澤上ニ於テ和泉道上部ニ合ス	二十八町二十五間	七尺	1/10 六寸	同三十八年度	明治四十一年度
四郎治林道	橋ノ澤相澤境ヨリ四郎治澤東部ニ上リ赤井澤上ノ澤上チヘテ札郷ニ至ルモノ	一里一町二十五間	七尺	1/12 五寸	同三十七年度	同三十八年度
郷臺林道	清澄派出所ヨリ郷臺畑ニ沿フテ寄宿舍ニ至ル本林境界	二里〇町二十八間	七尺	1/10 六寸	同三十一年度	同三十二年度
仁ノ澤林道	清澄船ノ澤ヨリ舊街道チ過ギ仁ノ澤苗圃下ニ終ル	十六町十二間	五尺	1/30 二寸	同三十四年度	同三十八年度

一杯水林道	清澄妙見腰ニ始マリ梨木臺櫻ケ尾チ經テ一杯水ニ終ル	二十一町四十二間	七尺	1/30 二寸	同三十三年度	同三十五年度
本澤林道	坂本部落ヨリ二間川流域ニ至ル	二十三町四十七間	七尺	1/17 三寸五分	同四十一年度	正大三年度
一杯水間林道	足谷ヨリ溪流ニ沿フテ一杯水製炭試験所ニ至ル	十一町二十間	七尺	1/17 三寸五分	正大四年度	同四年度
瀧ノ澤林道	猪川林道安野橋詰ニ始リ洞澤ノ溪流ニ沿ヒ瀧ノ澤ニ入り更ニ溪流ニ沿フテ土澤境ニ至ル	十二町五十七間五分	四尺	1/10 六寸	同五年度	同六年度
土澤林道	瀧ノ澤土澤境ニ始マリ細野造林地下ニ至ル	三町五十七間	四尺	1/10 六寸	同七年度	同八年度

以上ノ外所謂巡林道路ハ林内縦横ニ開設セリ

演習林内諸要地點里程表

發點	經由地點	終點	里程
派出所	荒樫、池ノ澤、龜ノ澤	郷臺寄宿舍	二里〇町二十八間
同	東條入會山林ト本林トノ境界線 縣道七曲リ路ヨリ分岐(鉛筆ビヤクシン見本林ノ所ニテ)	本澤林道遠矢ヶ臺下トシネル下口	二十三町十五間

派出所	諸戸林道	札郷寄宿舍	一里三十町
同	同	龜ノ澤造林試驗地	一里十一町二十九間
郷臺寄宿舍	同	同	二十四町五十九間
派出所	縣道ニヨリ七曲リ	武者戸野歌園、椎茸栽培所	二十四町十七間
同	清澄寺境内新町松葉	同	十九町十九間
同	船ノ澤、仁ノ澤	仁ノ澤苗圃養魚池跡	二十一町十五間
同	妙見腰、下馬不動、梨ノ木臺、櫻ヶ尾	一杯水向峯三逢ヒ	二十八町四十三間
椎茸栽培所	本澤林道	坂本部落入口	十四町三十四間
派出所	鹿島經由	淺間山絶頂	六町十七間
郷臺寄宿舍	小屋ノ澤 猪川林道	折木澤縣道接続	一里十四町三十五間
同	猪川林道	瀧ノ川製炭監炭所	十三町四十三間
派出所	縣道	内國樹種見本林松野紀念碑	十五町五十五間
同	縣道七曲リ	外國樹種見本林中央部	十八町〇間
同	清澄寺境内大久保道	鍛冶屋向峯三逢	二十四町四十間
同	同 新町松葉小屋ヶ尾	硯石三逢ヶス造林地	三十町二十七間
榊尾監視所	諸戸林道	郷臺寄宿舍	十五町四十三間
派出所	濁川中林地	櫻ヶ尾杉美林	一杯水行路中

同	一杯水林道終點ヨリ山ヲ降りテ五町半	一杯水製炭乾留試驗所	一杯水林道終點
同	同	大ベラ造林地治水試驗地	一杯水尾谷間林道ノ基點部分
郷臺寄宿舍	相ノ澤三十三曲リ、和勢道 四郎治林道	札郷寄宿舍	一里十四町五十一間
派出所	大見山下、大降西	三本松縣道接合點	二十五町五十間
清澄郷臺間近路	濁川中林地		一里五町十二間

### 第五 學生々徒ノ演習

本林ニ於テ定期ニ行ハルル學生々徒ノ演習ハ造林學、森林測量學、測樹學、森林經理學及ビ地質學等ノ實習ニシテ其他臨時ニ學術ノ研究及ビ實習ヲ行ハシム此等定期ノ演習ハ多ク春季夏季及ビ冬季ニ於ケル學業ノ休暇ヲ利用シテ行ハルルモノニシテ受持教官自ラ之ヲ實地ニ指導シ學生ヲシテ實際ノ技術ニ練熟セシメ且學科ト實地林業トノ應用的關係ヲ了得セシムルコトヲ目的トス

本林ハ學生ノ演習ニ適セシムベク多年經營ノ結果其模範的林分配置見本林、試驗事業等學生ノ實習研究ニ適セル設備ヲナシ且學生宿泊ノ爲メ清澄郷臺畑、及ビ札郷ノ三箇所ニ各一棟ノ寄宿舍ヲ設ケタリ

## 第六 試驗事項

本林ニテハ凡ソ林業林學ニ必要ナル事項ハ總テ之ガ試驗研究ヲナサントシ今日マデニ之ヲ實行シタルコト亦少シトセズ然レドモ或ル事項ニ就テハ相當ノ結果ヲ得ルモ或ルモノハ殆ンド成績ノ見ルベキモノナクシテ終レルモノ少ナカラズ今其試驗事項中主ナルモノヲ舉グレバ次ノ如シ

## 一 養魚試驗

明治三十三年十二月奥山地内字今澄ニ小養魚池ヲ設置シ日光中禪寺湖産鱒魚ノ卵二萬個ヲ取寄セ人工孵化ヲ行ヒクルニ成績頗ル良好ナリシヲ以テ更ニ又次年ニ二萬個ヲ孵化シタリ然ルニ仔魚ノ漸ク生長スルニ從ヒ或ハ斃死或ハ盲目トナリ又かはせみ、いたち等ニ捕ハルルコト多ク之レ恐ラク其養魚池狹隘ニ失スル爲メナラント思ハレタルヲ以テ明治三十六年ニ孵化後直チニ之ヲ清澄本流ニ放流シタルニ大雨ノ至ル毎ニ流失シ成績擧ラズ故ニ翌年更ニ奥山字仁ノ澤ニ於テ七里川ノ上流ヲ堰キ約三百十坪ノ新池ヲ作り稍大規模ニ之ガ試驗ヲ行ヒシモ之レ又結果不良ニ終レリ之レヲ要スルニ當地方ハ鱒ノ養成ニ對シテハ溫度稍高キ

ニ過ギ又大雨ノ際濁水ノ混入スルコト多キ爲メ完全ニ發育シ能ハザルナラントノ結論ニ達セリ

## 二 葉製樟腦ノ試驗

明治三十八年頃ヨリ清澄字小屋ケ尾地内ニ葉製樟腦蒸溜器ヲ裝置シ明治三十三年度ニ植栽シタル樟腦ノ葉ニヨリ製腦ヲ試驗シタリ其成績相當ナリシガ未ダ經濟的ノ好果ヲ擧グル能ハズ又其原料モ十分ナラザリシヲ以テ明治四十四年一先ヅ之ヲ中止セリ

## 三 製炭及ビ乾溜試驗

明治三十七年以來字丸山、十面澤、八瀬尾、東ノ澤等各所ニ於テ先ヅ製炭ニ付キ各種ノ試驗ヲ行ヒ其原料炭材ヨリ得ベキ製炭ノ割合、白炭、黑炭ニ就テノ各種築窯法ノ改良又白炭ノ燃燒度竝ニ煉シ程度或ハ半燒炭即チ赤木炭ノ製造等ニ就キ數多ノ實驗ヲナセリ即チ現今實行スル本學自營ノ製炭法ハ之等試驗ノ結果ヨリ得タルモノナリ

又製炭ト同時ニ日本式炭窯ヨリ木醋液ヲ採集シ醋酸石灰ノ製造ヲ數年間實行セリ彼ノ現時各地方ニ多ク行ハルル空氣冷却ノ裝置ハ主トシテ本林ノ試驗ニヨ

又大正三年十二月ヨリ清澄字一杯水ニ於テ本邦在來ノ炭窯ノ改造ニヨル木材乾溜ノ試験ヲ開始シテ今ヤ良好ナル結果ヲ收メ何等木炭ノ品質ヲ損ズルコトナク製炭ト共ニ醋酸石灰及木精ノ製造ヲ試ミツツアリ

#### 四 椎茸培養試験

明治四十一年度ヨリ宇小屋ケ尾ニ椎茸培養場ヲ設ケ此附近ニ多ク存在スルコナラヲ楷木トシ人工ニテ種付ヲナシ培養シタルニ頗ル好果ヲ得其生産量相當多額ニ達セリ

#### 五 各種造林試験

明治四十五年三月ヨリ清澄字七曲及同今澄ニ造林試験地ヲ設ケ主トシテすぎ、ひのき、まつニ就キ植栽距離挿木造林、母樹ノ産地及ビ年齢等ニ就キテノ試験ヲ開始シ又清澄字大平、折木澤字安野ニ大正九年以來すぎ林間伐試験ヲ、郷臺苗圃ニ苗木生育狀況ニ關スル試験ヲ試ミツツアリ

#### 六 森林氣象觀測

本演習林設置後幾許モナク清澄ニ森林氣象觀測ニ就テノ設備ヲ爲シ空氣溫度、

降水量、風力等ノ觀測ヲ爲シ又近來森林地内トシテ郷臺畑及安野臺ニ同様ノ設備ヲ設ケ以テ各地ノ比較研究ヲナサントス

#### 七 森林治水試験

大正二年清澄字足谷ノ地二十三町二反歩ノ區域ヲ劃シ其小澤ヨリ本流ニ灌グ溪口ヲ扼シ石堰堤ヲ設ケ自記檢潮器ヲ裝置シ且コノ地域内ニ地ヲ撰ビテ自記雨量計ヲ設置シ以テ降水量及溪水ノ量ヲ測定スルト同時ニ其時時ニ於ケル流域一體ノ林相ヲ調査シ以テ林相ノ變化ガ流水ニ如何ナル影響ヲ及ボスカヲ實驗シツツアリ亞イデ大正九年折木澤字仲澤及同西ノ澤ニ八十二町步餘ノ地域ヲ劃シ足谷ニ於ケルモノヨリモ更ニ規模ヲ大ニシテ同様ノ試験ヲ開始セリ

#### 八 野生動物飼養試験

明治四十二年小屋ケ尾字武者土ニ約三町步次イデ大正五年七月折木澤字郷臺畑ニ四反歩ノ區域ヲ劃シ森林ニ棲息スル各種野生動物ノ飼養ヲ爲シ是ガ繁殖及ビ棲息ノ狀態其利用價值竝ニ農林業ニ對スル利害關係ヲ調査研究スルコトトシ先ヅ奈良公園ヨリ日本固有ノ鹿三頭ヲ取寄セ飼育シタルニ今日ニテハ其數十數頭ニ達シ嚮ニ北海道野幌林業試験場並ニ本學部附屬北海道演習林ニ牝牡各一頭



宛ヲ分讓セリ又朝鮮產獐(のろ鹿)一對及ビ獨逸產だひ鹿一對ヲ取寄セ飼育シタルガ前者ハ氣候ニ適セザルカ牝牡トモ病死シ又後者モ牡ハ飼育開始後暫クニシテ傷死シ牝一頭ヲ殘存シタリシガ大正九年秋牝遊期ニ際シ日本產牝鹿ノ角ニヨリテ枉死セリ尙將來之ヲ擴張シ各種野生鳥獸ノ飼養ヲ試ミントシ目下更ニ雉及鶉ノ飼養ヲ試ム

### 第七 見本林

本林設置後明治三十年清澄字長坂七曲リ及ビ地藏堂堀ニ合計面積十二町五反八畝歩ノ地ヲ選定シ見本林ヲ設置シ内外國各種ノ林木ヲ團狀的ニ植栽セリ其主目的ハ各種林木ノ單純林ノ標本ヲ造ルニ在リ

## 附錄一

### 演習林樹木名彙

#### 針葉樹類

##### いちむ科

##### Texaceae.

イヌガヤ *Cephalotaxus drupacea*, S. et Z.  
カヤ *Torreya nucipera*, S. et Z.

##### まつ科

##### Pinaceae.

クロマツ *Pinus Thunbergii*, Parl.  
アカマツ *P. densiflora*, S. et Z.  
ヒメノミヤヅ *P. parviflora*, S. et Z.  
ツガ *Tsuga Sieboldii*, Carr.  
モミ *Abies firma*, S. et Z.  
スギ *Cryptomeria japonica*, Don.  
アスナロ *Thujaopsis dolabrata*, S. et Z.  
ヒノキ *Chamaecyparis obtusa*, S. et Z.

#### 潤葉樹類

##### せんりやう科 Chloranthaceae.

サハラ *C. Pistifera* S. et Z.  
オニノヤウ *Chloranthus brachysta* chys, Bl.

##### くるみ科 Juglandaceae.

オニグルミ *Juglans Sieboldiana*, Maxim.  
ノグルミ(ノブノキ) *Platy carya strobilacea*, S. et Z.

##### やまぶき科 Myricaceae.

ヤマブキ *Myrica rubra*, S. et Z.

##### やなぎ科 Salicaceae.

ヤマナラシ *Populus tremula*, L. var. *Villosa*, Wasm.  
カンヤナギ *Salix purpurea*, L. subsp. *amplexicaulis*, Boiss.

イハヤナギ *S. Sieboldianum*, Bl.  
 コロヤナギ *S. rubra*, L.  
 ネロヤナギ *S. gracilistylis*, Miq.  
 ミヤヤナギ *S. japonica*, Thunb.

かたのき科 **Betulaceae.**

イヌミズ(ノロ) *Corylus yedoensis*, Maoc.  
 ミズ(クヤマミズ) *C. distegocarpus* (S. et Z.)  
 サシクミ *C. cordata*, Bl.  
 ノンノキ *Alnus japonica*, S. et Z.  
 ヤマノノキ *A. incana*, Willd. var. *sibirica*, Spach.  
 ヤミヤナギ *A. pinnata*, S. et Z. var. *Yasuii*, Winkl.

かしは科 **Fagaceae.**

イヌブナ *Fagus japonica*, Maxim.  
 シリブカガシ *Pasania glabra*, Oerst.  
 タラ *Castanea sativa*, Mill.  
 シロ *Pasania cuspidata*, Oerst.  
 マテハシロ *P. edulis*, Makino.  
 タヌキ *Quercus acutissima*, Carr.  
 コナラ *Q. glandulifera*, Bl.

カシ *Q. dentata*, Thunb.  
 ミズナラ *Q. grossoserrata*, L.  
 \*オホナラ *Q. crispula*, Bl. 樺田櫻  
 ウハメガシ *Q. Ilex*, L. var. *phillyræoides*, Franch.  
 アラカシ(シロカシ) *Q. glauca*, Thunb.  
 シラカシ *Q. myrsinacola*, Bl.  
 ウラジロガシ *Q. stenophylla*, Makino.  
 ツツバネガシ *Q. sessilifolia*, Bl.  
 イチゴガシ *Q. gilva*, Bl.  
 アカシ *Q. acuta*, Thunb.

これ科 **Ulmaceae.**

ノニ *Ulmus campestris*, Sm. var. *laevis*, Planch.  
 エノキ *Celtis sinensis*, Pers. var. *japonica*, Nakai.  
 ムシノキ *Aphananthe aspera*, Planch.  
 ケヤキ *Zelkova serrata*, Mak.

くは科 **Moraceae.**

クハ(クハヤシ) *Morus alba*, L. var. *stylosa*, Bur.

カサノ *Broussonetia Kazinoeki*, Sieb.  
 ヒメカサノ *B. papyrifera*, Vent. var. *japonica*, Bl.  
 イタビカサノ *Ficus povesata*, Walp.  
 コメイトナ *F. Thunbergii*, Maxim.  
 イヌゴシ *F. erecta*, Thunb.  
 キンバノイトナ *F. erecta*, Thunb. var. *Sieboldii*, King.

くさくさ科 **Urticaceae.**

ヤナギムシ *Delregeasia edulis*, Wedd.

やぶりお茶科 **Loranthaceae.**

トナヅ *Loranthus Kaempferi*, Maxim.  
 コンキハヤブ *Viscum japonicum*, Thunb.  
 ヤブツツキ *V. album*, L.

つくばねのお茶科 **Santalaceae.**

ツツムネノキ *Buckleya joan*, Mak.

ゆづらん科 **Magnoliaceae.**

コナシ *Magnolia Kobus*, DC.  
 ホノノキ *M. hypoleuca*, S. et Z. var. *concolor*, Miq.  
 ヤマノキ *Schizandra chinensis*, Baill.

クハノカサノ *Kadsura japonica*, Juss.  
 ミキ *Illicium anisatum*, L.

あつちくさ科 **Trochodendraceae.**

カシラ *Cercidilyllum japonicum*, S. et Z.  
 フカツツラ *Euptelea polyantha*, S. et Z.  
 ヤブツツキ(エリゴトノキ) *Trochodendron aralioides*, S. et Z.

あわむさ科 **Lardiabalaceae.**

アハ *Staurtonia hexaphylla*, Deene.  
 アキ *Akebia quinata*, Deene.  
 ツツムネ *A. lobata*, Deene.  
 ヤブツツキ var. *pentaphylla*, Makino.

ぬお茶科 **Berberidaceae.**

ヌキ *Berberis Thunbergii*, DC. var. *Maximowiczii*, F.S.  
 コロン(クハノキ) *B. vulgaris*, L. var. *japonica*, Rgl.  
 (クハノキ) *B. Sieboldii*, Miq.

ついでついで科 **Menispermaceae.**

アサツクラフナ *Cocculus Thunbergii*, DC. var. *subtiloba*, Miq.  
オホツクラフナ *C. diversifolius*, Miq.

くすくす科

Lauraceae.

クスノキ *Cinnaromum Camphora*, Nees, et Eberm.  
ヤブニツケイ *C. pedunculatum*, Nees.  
タブ(イヌクス) *Machilus Thunbergii*, S. et Z.  
アサガシ *M. longifolia*, Bl.  
バリバリノキ(アサガシノキ) *Actinodaphne acuminata*, Meisn.  
シロダモ *Litsea glauca*, Sieb.  
イヌガシ *L. aciculata*, Bl.  
カキノキ *L. lanceifolia*, Vahl.  
ハヤユン *L. japonica*, Juss.  
シロギシ *Lindera triloba*, Bl.  
カナクキノキ *L. Thunbergii*, Makino.  
クロギシ *L. umbellata*, Thunb.  
ヤマカサミ *L. glauca*, Bl.  
アブラヤシ *L. praecox*, Bl.

かきのした科 Saxifragaceae.

ハイタラウツギ *Philadelphus Satsumi*, Sieb.  
ウツギ *Deutzia crenata*, Thunb. var. *crenata*, Mak.

マルハウツギ *D. silhobiana*.  
ロメウツギ *D. gracilis*, S. et Z.  
コノキ *Hydrangeahirta*, S. et Z.  
ガクウツギ *H. vir-us*, Sieb.  
ノリウツギ *H. paniculata*, Sieb.  
タムバチサキ *H. involucrata*, Sieb.  
チトウマン *H. petiolaris*, S. et Z. var. *cor-difolia*, Max.  
サンプラサキ *H. opuloides*, K. Koch. var. *angustata*, S. Huedl.  
イハガラシ *Schizophragma hydrangoides*, S. et Z.  
アマチヤノキ *Hydrangea Thunbergii*, Sieb.

かたかく科 Hamamelidaceae.

イヌノキ *Distylium racemosum*, S. et Z.  
ウツギ科 *Pittosporaceae.*

トゲナラ

*Pittosporum Tojira*, Ait.

はな科

Rosaceae.

ヒガンザクラ *Prunus Itozakura*, Sieb.  
ヤマザクラ *P. donarium*, Sieb.  
ヒヤマザクラ *P. Maximowiczii*, Rupr.  
イメザクラ *P. incisa*, Thunb.  
ウハミツザクラ *P. Grayana*, Max.  
チウジザクラ *P. crassipes*, Koidz.  
イヌザクラ *P. Buergertana*, Miq.  
シウリザクラ *P. Siori*, Fr. Schm.  
バクチノキ *P. macrophylla*, S. et Z.  
リンボク *P. spinulosa*, S. et Z.  
ザイフリボク *Amelanchier asiatica*, Endl.  
カマツカ *Pratinia villosa*, DC.  
カナメモチ *P. glabra*, Max.  
\*ユン *Eriobotrya japonica*, Lindl.  
アツキナシ *Micromela alvifolia*, Koehne.  
ズミノキ *Cornus Ts-honosii*, Koidz.  
シヤリンバイ *Raphiolepis umbellata*, Makino.

コケムツギ科

コケムツギ *Stephanandra incisa*, (Thunb) Zabel.  
カササキ *Spiraea japonica*, L. P.  
ノイバラ *Chaenomeles lagenaria*, Koidz.  
キイチク *Rosa multiflora*, Thunb.  
ニガイチク *Rubus palmatus*, Thunb.  
クロイチク *R. incisa*, Thunb.  
ハスノイチク *R. Kinashii*, Leyel. Vent.  
ヤマナシ *R. peletatus*, Maxim.  
*Pyrus sieversis*, Lindl.

かぶこ科 Leguminosae.

キムノキ *Albizia julibrissia*, Boiv.  
\*ハナムキ *Sophora japonica*, L.  
ハナムキ *Lespedeza bicolor*, Turcz. var. *inter-media*, Max.  
キンキ *L. Buengeri*, Miq.  
シヤメンキ *L. cyrtobotrya*, Miq.  
イヌンギ *L. atomnosa*, Sieb.  
フヤ *Milletia floribunda*, Matsum.

ニヤマトムラ *Euclea japonica*, Benth.  
 ヌツノキ *Cladastis shikokiana*, Makino.  
 イヌエンジホ *C. amurensis*, B. rth.  
 ジヤケツイムラ *Caesalpinia espiaria*, Boxb.

**さんせう科 Rutaceae.**

サンホウ *Xanthoxylum piperitum*, DC.  
 フユサンホウ *X. planispinum*, S. et Z.  
 カラスザンホウ *Fagara ailanthoides*, Engl.  
 イヌザンホウ *F. schimifolia*, Engl.  
 コクサギ *Orixa japonica*, Thunb.  
 ニヤミシキ *Skimmia japonica*, Thunb.  
 ウチダシニヤミシキ *„* var. *rugosa*, Yatabe.  
 カラタチ *Pseudogle trifoliata*, Mak.  
 エズ *Citrus Aurantium*, L. subsp. *Juno*s, Mak.

**にがき科 Simarubaceae.**

ニガキ *Picrasma quassoides*, Benn.

**にしきせん科 Euphorbiaceae.**

アブラキ *Aleurites cordata*, Steudl.

ニツリン *Daphniphyllum macropodum*, Miq.  
 アカメガミン *Mallotus japonicus*, Muell. Arg.  
 シラキ *Excoecaria japonica*, Muell. Arg.  
 ロメエズリン *Daphniphyllum glaucosensu*, Bl.  
 カンコノキ *Glochidion obovatum*, S. et Z.

**じくせう科 Coriariaceae.**

ドクワツキ *Coriaria japonica*, A. Gray.

**じりし科 Anacardiaceae.**

ヤマノギ *Rhus sylvestris*, S. et Z.  
 ヤマウルミ *R. trichocarpa*, Miq.  
 ツタウルミ *R. Toxicodendron*, L. var. *vulgaris*, Pursh.  
 ヌレヒ *R. semi-alata*, Murr. var. *Osbeckii*, DC.  
 キンギノキ *R. succedanea*, L.

**ゆきの科 Agnifaliaceae.**

イヌツゲ *Ilex crenata*, Thunb.  
 コノノイヌツゲ *„* var. *microphylla*, Max.  
 ノルバイヌツゲ *„* var. *rotundifolia*, max.  
 モチノキ *I. Othera*, Spreng.

クロガネモチ *I. rotunda*, Thunb.

ソヨロ *I. pedunculosa*, Miq.

タラエノ *I. latifolia*, Thunb.

アチンダ *I. dubia*, Trvl. var. *macroloba*, Loesn.

ウメモドキ *I. serrata*, Th. var. *Sieboldi* Lessn.

フウリンウメモドキ *I. geni ukata*, Max.

ナメノキ *I. Oldhami*, Miq.

ツルツゲ *I. rugosa*, Schmitt.

**じりめふし科 Celastraceae.**

ツルウメモドキ *Celastrus articulatus*, Thunb.

フサキ *Eurogynus japonica*, Thunb.

フド *E. europaea*, L. var. *Hamiltoniana*, Max.

ニシキ *E. alata*, Thunb.

コノド *„* var. *st. iata*, Mak.

ツリンナ *E. oxyphyllus*, Miq.

ツルミサキ *E. japonica*, Thunb. var. *radicans*, Miq.

ヒロメノツリンナ *E. macropterus*, Rupr.

**まじばしり科 Staphyleaceae.**

ミツバウツギ *Staphylea Bamalda*, S. et Z.

アケボノソウ *Daphniphyllum macropodum*, Miq.

アケボノソウ *Mallotus japonicus*, Muell. Arg.

アケボノソウ *Excoecaria japonica*, Muell. Arg.

アケボノソウ *Daphniphyllum glaucosensu*, Bl.

アケボノソウ *Glochidion obovatum*, S. et Z.

アケボノソウ *Coriaria japonica*, A. Gray.

アケボノソウ *Rhus sylvestris*, S. et Z.

アケボノソウ *R. trichocarpa*, Miq.

アケボノソウ *R. Toxicodendron*, L. var. *vulgaris*, Pursh.

アケボノソウ *R. semi-alata*, Murr. var. *Osbeckii*, DC.

アケボノソウ *R. succedanea*, L.

アケボノソウ *Ilex crenata*, Thunb.

アケボノソウ *„* var. *microphylla*, Max.

アケボノソウ *„* var. *rotundifolia*, max.

アケボノソウ *I. Othera*, Spreng.

オサマンノキ *Turpinia peritena* DC.

**かくつ科 Aceraceae.**

ウツカ *Acer crataegifolium*, S. et Z.

ウツカ *A. rupestris*, S. et Z.

モシギ *A. palmatum*, Thunb. subsp. *genuinum*-  
K idz

トキハカ *A. platanifolium*, A. platan, Thunb.

アサロカ *„* var. *dissectum*, Wessm.

ヤマミズカ *A. carpinifolium*, S. et Z.

シナカ *A. rubrum*, L.

**じりの科 Hippocastanaceae.**

アチノキ *Aesculus turbinata*, Bl.

**むくろじ科 Sapindaceae.**

\*ムクロジ *Sapindus mukurosi*, Gaertn.

**あきかづ科 Sabiaceae.**

アキカズラ *Sabia japonica*, Max.

アヲフキ *Meliosma myriantha*, S. et Z.

**くろくろ科 Rhamnaceae.**

クロクメ *Rhamnus japonica*, Max.

クマヤナギ Berchemia nemosa, S. et Z.  
ケンホナミ Hovenia dulcis, Thunb.  
**ぢんちやうげ科 Rhymelaceae.**

ガンドク Wies'tonia sikokiana, Fr. et Sav.  
ニシヤタ Elogowordia chrysantha, Lindl.  
オニミズリ Daphne pseudo-jurzeum, A. Gr.

**ぶだう科 Vitaceae.**  
ヤマブドウ Vitis Coignatiae, Pull.  
エゴメル V. Thunbergii, S. et Z.  
ギヤウジヤノミズ V. plexuosa, Thunb.  
ノブドウ Ampelopsis heterophylla, S. et Z. var. Lavalley, Planch.

ツタ Quinaia Thunbergii, Nakai.  
**しなのぎ科 Tiliaceae.**  
シナノギ Tilia cordata, Hill. var. japonica, Miq.

**せじあひ科 Malvaceae.**  
ムクゲ Hibis us syriacus, L.  
**ちるなし科 Dilleniaceae.**  
シラカチメル Actinia rufa, Miq.

トレンダミ E. macrophylla, Thunb.  
ツレダミ E. glabra, Thunb.

**ちんせき科 Lythraceae.**  
\*サルスベリ Lagerstroemia indica, L.  
**しじみ科 Araliaceae.**  
タラノキ Aralia chinensis, L. var. grabrescens, (Fr. et Sav.)

ウロギ Aekthofanax spinosum, Seem.  
キツタ Hedera Helix, L.  
シロギョウ Kalopanax trifolius, Miq.  
ヤシキ Fatsia japonica, Decne. et Planch.  
カクメシロ Gilibertia trifida, Mak.

**あざみ科 Cornaceae.**  
ヤマアザミ Berthamia Koussu, Nakai.  
ミヅキ Cornus controversa, Hemsl.  
ハナイカダ Helwingia japonica, Dietr.  
アマキ Aucuba japonica, Thunb.  
\*サンシユロ Macro arpium officinale, Nakai.

**いしのき科 Alangiaceae.**

イノシロクサ Alangium platyfolium, Harms. var. genninum, Wang. forma cordatum, Wang.  
クサハナ Clethra barbinervis, S. et Z.  
\*ウラボシ Alangium platyfolium, Harms. var. genninum, Wang. forma cordatum, Wang.  
\*ウラボシ Alangium platyfolium, Harms. var. genninum, Wang. forma cordatum, Wang.

イノシロクサ A. polygona, Miq.  
**あざみ科 Theaceae.**  
サカキ Eurya ochracea, Szysz.  
コサカキ E. japonica, Thunb. var. Thunbergii, Thw.

ナシロクサ Stewartia laevis-Camellia, (Max.)  
ボツロクサ Ternstroemia japonica, Szysz.  
シロクサ Ternstroemia japonica, Nois. var. hortensis, Mak. (ナガバノコサカキ)

**あざみ科 Stachyuraceae.**  
キノキ Sta hyu us praecox, S. et Z.  
**あしきりせん科 Guttiferae.**  
キンミズト Hypeiium patulum, Thunb.

**いしのき科 Tlacourtiaceae.**  
イノキ Idesia Polycarpa, Max.  
**ぐみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**あざみ科 Elaeagnaceae.**  
アキウミ Elaeagnus umbellata, Thunb.  
ナシロクサ Elaeagnus pungens, Thunb.  
ナシロクサ E. multiflora, Thunb.

**まじりかんの科 Myrsinaceae.**

- タイミンタチスナ *Myrsine capitelata*, Wall.
- ヤブカウジ *Ardisia japonica*, Bl.
- ツルカウジ *A. villosa*, Max.
- マンリヤウ *A. crispata*, DC.
- イヅセマンリヤウ *Maesa japonica*, Maxim. var. *latifolia*, Miq.

**かきの科 Ebenaceae.**

- ヤマガキ *Diospyros Kaki*, L. fil. var. *silvestris*, Mak.
- マメガキ *D. Lotus*, L. var. *typica*, Mak.

**さばふたぎの科 Symplocaceae.**

- ハイノキ *Symplocas myrtacea*, S. et Z.
- クロバエ *S. caudata*, Wall.
- ルリミノウシコロシ *S. entegoides*, Ham. (サンフタギ)

**まじりの科 Styracaceae.**

- ヒユノキ *Styrax japonicum*, S. et Z.

**もくせい科 Oleaceae.**

- トネリコ *Fraxinus Bangana*, DC. var. *publinter-vis*, Wg.

- アチタコ(コバントネリコ) *F. longispis*, S. et Z.
- イボタ *Ligustrum Ibo-ta*, Sieb.
- オホバイボタ *L. medium*, Fr. et Sav.
- ネズミモチ *L. japonicum*, Thunb.
- コノラギ *Ternstroemia aquifolium*, S. et Z.

**まがねの科 Loganiaceae.**

- ネウライカマラ *Pseudeguanea nutans*, Radoh.

**さかづき科 Apocynaceae.**

- サカキカズラ *Anoënon laeve*, Maxim.
- テイカカズラ *Trachelospernum divaricatum*, K. setum.

**むらさぎ科 Boraginaceae.**

- ムラサキシキブ *Echreia macrophylla*, Wall.

**くまごの科 Verbenaceae.**

- ムラサキシキブ *Calliandra japonica*, Thunb.
- コムラサキ *C. purpurea*, Juss.
- クロウドムラサキ *C. tomentosa*, Willd.

- ヤブムラサキ *C. mollis*, S. et Z.
- クサギ *Glendendron trichotomum*, Thunb.

**なすび科 Solanaceae.**

- クユ *Lycium chinese*, Mill.

**あかね科 Rubiaceae.**

- アリドウシ *Damnanthus indicus*, Gaertn. var. *seuinus*, Mak.
- カギカズラ *Cinnouparia rhynechophylla*, (Miq.)
- \*イナンギ *Leptodermis pulchella*, Yatabe.
- ジゴズネノキ *Damnanthus indicus*, Gaertn. var. *major*, Mak.

**すひかづの科 Caprifoliaceae.**

- シロネウツギ *Diervilla cornensis*, DC.
- ツクシネウツギ *Linnæa spathulata*, Graebn.
- コツクシネウツギ *L. serrata*, Griseb.
- タニウツギ *Diervilla japonica*, DC.
- スヒカズラ *Lonicera japonica*, Thunb.
- ウグロスカズラ *L. gracilipes*, Miq. var. *glabra* Miq.
- キンギンボク *L. Morrowii*, A. Gr.

附録 演習林樹木名彙

**単子葉樹類**

**くわほん科 Gramineae.**

- マダケ *Phyllostachys reticulata*, Kach. (P. bambusoides, S. et Z.)
- ハチク *P. puberula*, Munro.
- ムササビ *P. edulis*, A. et C. Riv.

**きく科 Compositae.**

- カウヤバウキ *Pertya ovata*, Max.
- ナガバノカウヤバウキ *P. sandersii*, Schultz-Bip.

- ニントロ *Sambucus racemosa*, L. var. *Sieboldiana*, Miq.

- ガマズミ *Viburnum dilatatum*, Thunb.

- コバノガマズミ *V. erosum*, Thunb.

- ミヤマガマズミ *V. Wrightii*, Miq.

- ヤブチマリ *V. toment sum*, Thunb.

- ヒメギ *V. Sieboldi*, Miq.

- オホカメノキ *V. furcatum*, Bl.

- サンゴジキ *V. olonitissimum*, Ker.

千葉縣演習林概要

- ネザサ  
メダケ  
ハコネダケ  
クマザサ  
ヤダケ  
コマイザサ
- Arundinaria variabilis, Makino.  
A. Siraoni, Riv.  
A. Clino, Makino.  
Sasa albo marginata, Makino et Shibata.  
S. japonica, (S. et Z.) Makino (Arundinaria japonica, S. et Z.)  
Shibataea Kumusasa, Mak.
- ゆり科**  
Liliaceae.  
サルトロイイハラ Smilax China, L.

附録二

演習林杉收額表

右田林學博士 松川林學士 共查 (大正八年調査)  
吉田林學士  
(本表ニ於ケル年齢ハ苗木ノ年齢ヲ加算セルモノナリ)

地位中

年 齡	主 林 木										副 林 木			
	中 央 木				一 町 步 當 り						本數	幹材積 (石)		
	胸高直徑 (寸)	高 (間)	幹材積 (石)	胸高 形數	本數	底面積 (平方尺)	幹材積 (石)	幹材積	積	積			積	
5	—	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	1.9	—	—	—	82	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	3.3	—	—	—	242	288	55.6	19.20	—	—	—	—	—
20	4.1	4.7	0.200	0.526	2831	381	566	57.0	28.30	10.40	482	52	—	—
25	5.1	5.9	0.362	0.497	2349	486	851	59.0	34.04	7.01	362	69	—	—
30	6.0	6.9	0.577	0.487	1987	566	1146	60.0	38.20	5.32	257	76	—	—
35	6.8	7.9	0.836	0.484	1730	631	1446	59.2	41.31	4.21	189	76	—	—
40	7.5	8.8	1.130	0.482	1541	686	1742	57.0	43.55	3.40	143	73	—	—
45	8.2	9.6	1.450	0.481	1398	734	2027	54.0	45.04	2.78	110	68	—	—
50	8.8	10.3	1.784	0.480	1288	776	2297	49.5	45.94	2.29	155	118	—	—
55	9.3	10.9	2.117	0.478	1202	813	2545	45.0	46.27	1.89	—	—	—	—
60	9.8	11.5	2.44	0.475	1133	845	2770	41.2	46.17	1.57	—	—	—	—
65	10.2	12.0	2.76	0.471	1080	875	2976	37.2	45.78	1.33	95	101	—	—
70	10.5	12.5	3.05	0.467	1038	903	3162	34.6	45.17	1.14	—	—	—	—
75	10.9	13.0	3.32	0.462	1004	929	3335	32.8	44.47	1.02	63	92	—	—
80	11.2	13.4	3.59	0.458	975	954	3499	31.2	43.74	0.92	—	—	—	—
85	11.4	13.7	3.85	0.455	950	977	3655	30.0	43.00	0.84	46	85	—	—
90	11.7	14.0	4.10	0.453	929	999	3805	29.2	42.28	0.78	—	—	—	—
95	12.0	14.3	4.34	0.451	910	1020	3951	28.6	41.59	0.73	36	81	—	—
100	12.2	14.6	4.58	0.450	893	1040	4094	—	40.94	—	—	—	—	—

地位上

年 齡	主 林 木										副 林 木			
	中 央 木				一 町 步 當 り						本數	幹材積 (石)		
	胸高直徑 (寸)	高 (間)	幹材積 (石)	胸高 形數	本數	底面積 (平方尺)	幹材積 (石)	幹材積	積	積			積	
5	—	0.9	—	—	—	45	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	2.8	—	—	—	190	—	—	—	—	—	—	—	—
15	4.1	4.5	0.176	0.500	3116	410	547	81.0	36.47	—	—	—	—	—
20	5.7	6.0	0.434	0.474	2194	563	952	81.8	47.60	8.91	922	106	—	—
25	7.1	7.2	0.784	0.468	1735	678	1361	80.0	54.44	6.14	459	133	—	—
30	8.2	8.3	1.207	0.464	1459	762	1761	77.0	58.70	4.57	276	128	—	—
35	9.1	9.4	1.669	0.461	1286	828	2146	73.8	61.31	3.58	173	104	—	—
40	9.8	10.3	2.150	0.460	1170	883	2515	69.6	62.88	2.90	116	79	—	—
45	10.5	11.1	2.639	0.459	1085	930	2863	65.4	63.62	2.39	85	63	—	—
50	11.0	11.9	3.128	0.458	1020	970	3190	61.6	63.80	2.01	65	53	—	—
55	11.5	12.7	3.61	0.457	968	1005	3498	57.0	63.60	1.71	95	87	—	—
60	11.9	13.4	4.09	0.456	925	1035	3783	52.0	63.05	1.46	—	—	—	—
65	12.3	14.0	4.54	0.454	890	1062	4043	46.8	62.20	1.23	65	74	—	—
70	12.7	14.5	4.97	0.452	860	1085	4277	42.6	61.10	1.05	—	—	—	—
75	13.0	15.0	5.38	0.450	835	1106	4490	39.0	59.87	0.92	47	69	—	—
80	13.3	15.5	5.76	0.448	813	1125	4685	35.4	58.56	0.80	—	—	—	—
85	13.6	15.9	6.12	0.447	794	1142	4862	32.6	57.20	0.70	36	65	—	—
90	13.8	16.3	6.47	0.446	777	1157	5025	30.0	55.83	0.63	—	—	—	—
95	14.0	16.6	6.79	0.445	762	1171	5175	28.0	54.47	0.56	29	61	—	—
100	14.2	16.9	7.11	0.444	748	1184	5315	—	53.15	—	—	—	—	—



326  
3601

大正十一年二月二十八日印刷  
大正十一年三月三日發行

東京帝國大學農科大學演習林

印刷者 山田三太郎  
印刷所 山田活版所  
東京市赤坂區田町五丁目十一番地

地位下

年	主 林 木								副 林 木			
	中 央 木				一 町 步 當 り				本數	幹材積 (石)		
齡	胸高直徑 (寸)	高 (間)	幹材積 (石)	胸高 形數	本數	底面積 (平方尺)	幹材積 (石)	連年生長量 (石)			平均生長量 (石)	生長率
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	40	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	148	—	—	—	—	—	—
20	—	2.9	—	—	—	263	—	—	—	—	—	—
25	—	4.0	—	—	—	353	—	—	—	—	—	—
30	4.2	4.9	0.211	0.527	3168	428	669	45.6	22.30	—	490	53
35	4.8	5.9	0.335	0.519	2678	489	897	48.8	25.63	5.36	375	62
40	5.5	6.8	0.495	0.516	2303	541	1141	49.2	28.53	4.38	278	67
45	6.1	7.6	0.685	0.515	2025	587	1387	47.2	30.82	3.55	223	69
50	6.7	8.4	0.901	0.514	1802	627	1623	44.0	32.46	2.86	—	—
55	7.2	9.1	1.129	0.509	1633	665	1843	39.6	33.51	2.31	307	137
60	7.7	9.7	1.365	0.504	1495	697	2041	35.4	34.02	1.86	—	—
65	8.2	10.2	1.596	0.497	1390	727	2218	32.0	34.12	1.54	187	129
70	8.6	10.7	1.818	0.486	1308	756	2378	30.0	33.97	1.31	—	—
75	9.0	11.2	2.03	0.480	1245	784	2528	28.6	33.71	1.17	114	117
80	9.3	11.6	2.24	0.471	1194	811	2671	28.0	33.39	1.07	—	—
85	9.6	12.0	2.44	0.467	1153	838	2811	27.8	33.07	1.00	75	106
90	9.9	12.3	2.64	0.464	1119	864	2950	27.6	32.78	0.94	—	—
95	10.2	12.5	2.83	0.463	1091	889	3088	27.4	32.51	0.90	51	99
100	10.4	12.7	3.02	0.462	1068	914	3225	—	32.25	—	—	—

千葉縣演習林概要

326  
360

終